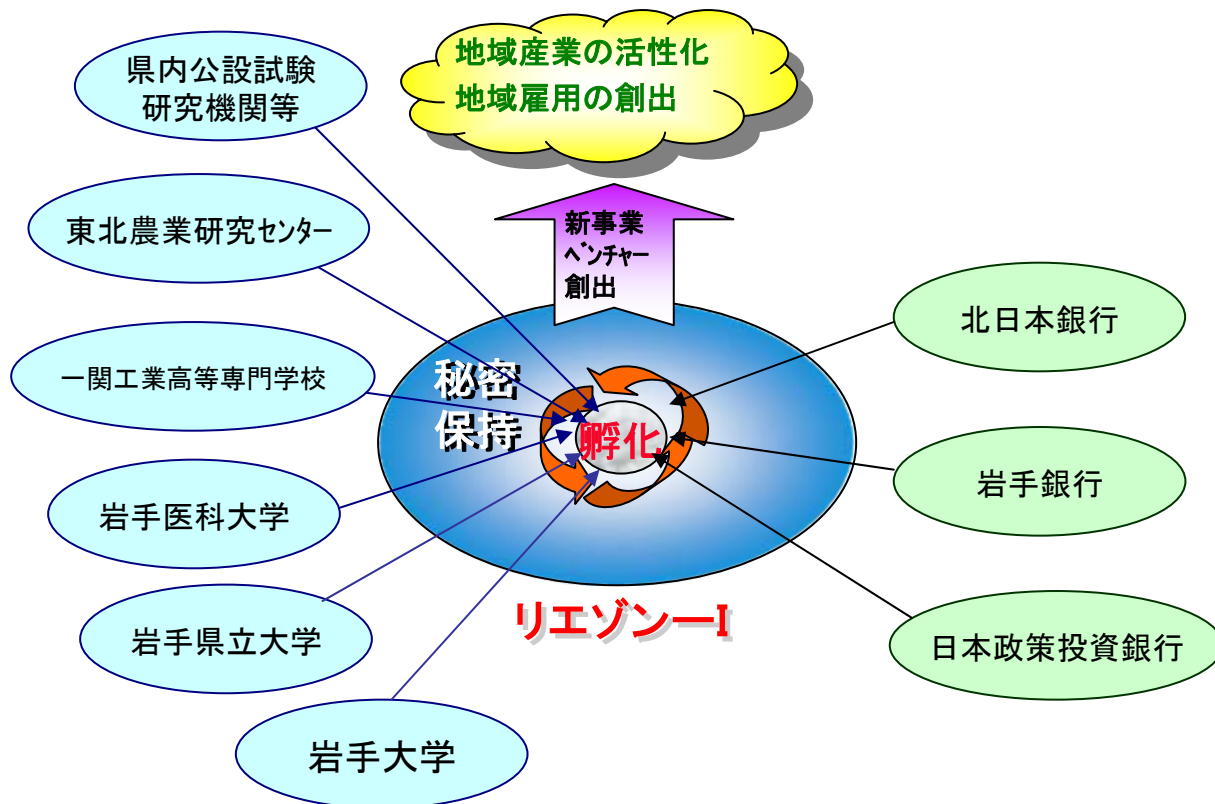


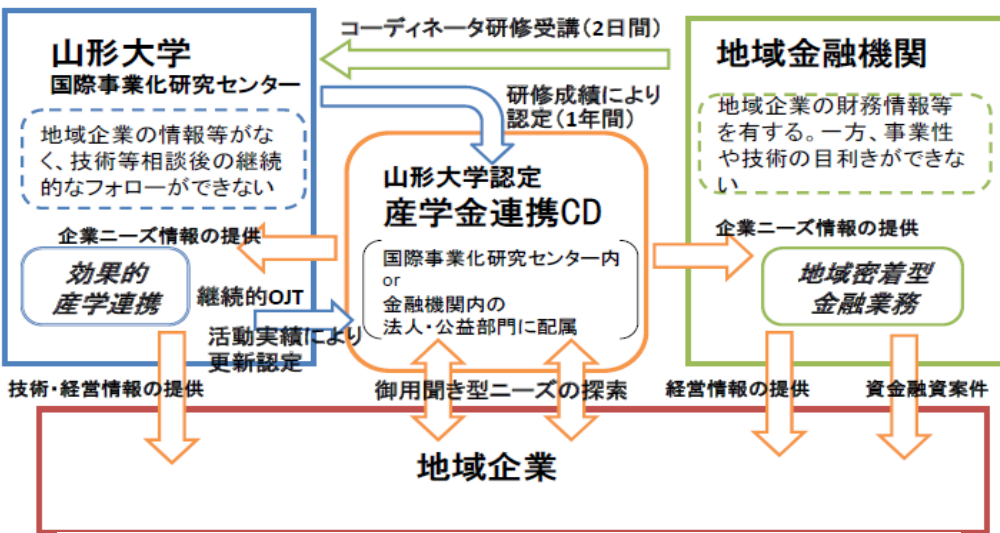
平成16年5月に岩手大学、岩手銀行、日本政策投資銀行が、地域産業の活性化・雇用の創出を目的として設置。金融機関の行員が研究機関の研究シーズを企業に紹介し、共同研究創出を図るとともに、産学で共同研究を実施する企業に対して、1千万円/年を上限として資金面での支援も行っている。

現在では組織の拡大によって「オール岩手」の態勢が整い、全国でも類を見ない産学官金連携組織となっている。

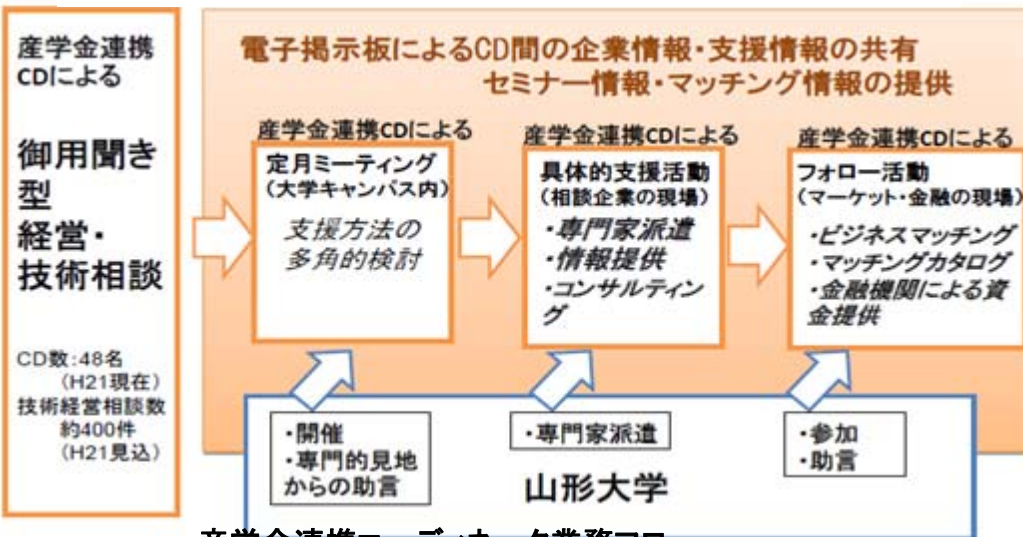
- ・県内10研究機関の研究シーズを冊子にとりまとめ、HP上でも公開
- ・金融機関の行員が研究シーズ集を持参し、企業等に紹介
- ・金融機関が産学共同研究企業に対し、100万円/社(総枠1千万円/年)を上限とする助成制度「リエゾン-I研究開発事業化育成資金」により支援



地域金融機関6機関と大学にて連携協力協定を締結。研修を受講し審査基準を満たした金融機関の職員をコーディネータとして認定し、企業の悩みをくみ取り、大学へつなぐコーディネータ制度を導入。  
 コーディネータ制度を基盤として、「地域力連携拠点事業(中小企業庁)」(大学では唯一)における拠点を形成。



※地域金融機関の地域密着型金融の実施に不可欠な地域企業の成長を支援できる人材の育成に主眼を置いたコーディネータシステム



## 実施研修内容

- (1)産学コーディネートに関する意義や基礎的知識の習得を目的とした講義
- (2)企業の製造現場の実地見学
- (3)グループワークによる企業分析
- (4)分析結果プレゼンテーション(訪問企業へ還元)
- (5)産学連携に関するレポート作成等

## コーディネーターとして認定

アグリビジネスマッチングカタログ(成果物)→



【金融機関との連携状況】  
 協定 **6機関** (全国大学トップクラス)

## 拠点事業 (中小企業庁)

連携機関 **2機関** (H21) → **5機関** (H22予定)

米沢信用金庫、新庄信用金庫

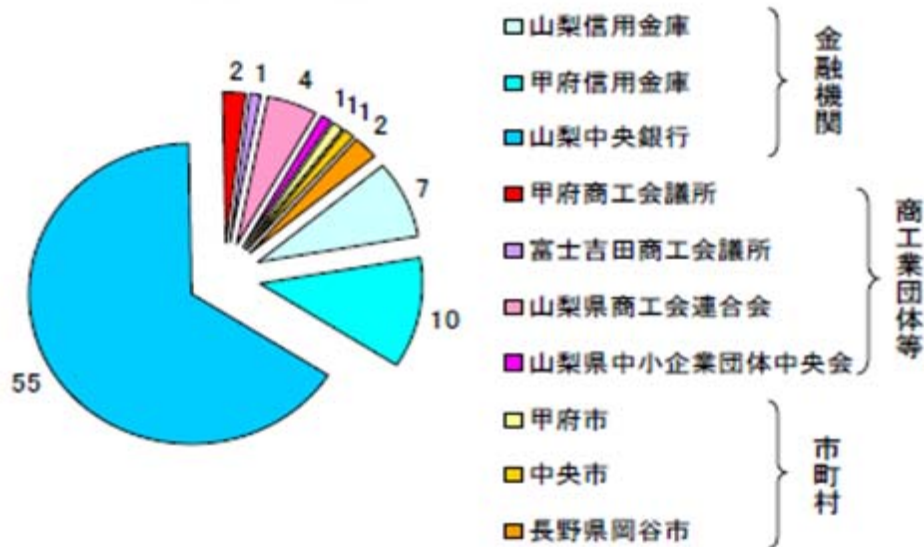
学内常駐の **2機関** (人事交流(受入))  
 大学職員を金融機関に派遣 **1機関** (人事交流(派遣))  
 産学連携用金融商品新設 **1機関**

山梨大学と包括連携協定を結んでいる自治体や金融機関等のネットワークを活用して、よりの確な産学官連携活動を展開し、大学の研究成果を地域で有効利用するとともに、社会連携活動の推進に携わる人材の育成を図り、更なる地域の活性化を図っている。

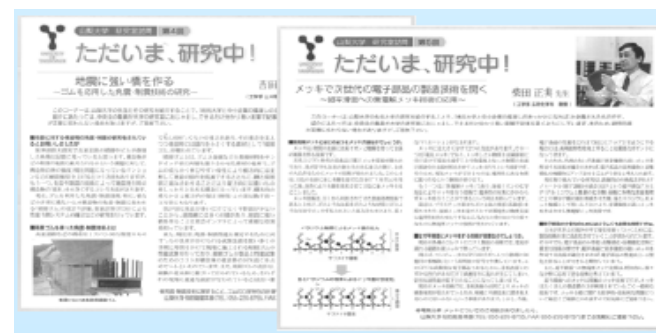
- 山梨大学の研究シーズを企業などに紹介
- 大学のシーズと企業ニーズとのマッチング
- ベンチャー企業の育成



客員社会連携コーディネーター数内訳



山梨県中小企業団体中央会の機関紙「中小企業タイムズ」や、山梨中央銀行の「“ビジネスチャンス”直行便！」などが発行。



当初、8名からスタートした客員社会連携コーディネーターは、平成21年度までに10機関から84名の客員社会連携コーディネーターが委嘱されるなど、年々その規模を増し、より一層の地域貢献が期待される。

地域イノベーション施策として、それぞれの強みを発揮し産学連携活動の高度化と企業支援を通じた社会貢献活動の充実化を目的に金融機関から出向者を受け入れる取組。



RITS & BIWAKO  
産学官金協同 ビジネス交流会

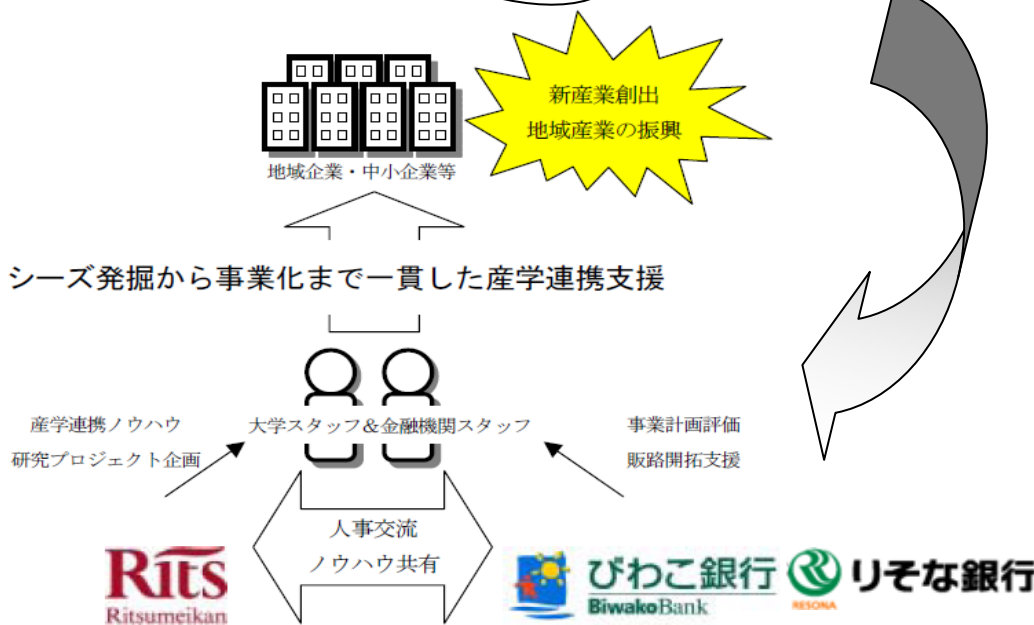
平成20年3月  
新名神高速道路【草津田上IC～亀山JCT】の開通と立命館大学【生命科学部/農学部】新設を契機に、産学官金事業の一環として情報発信の場を提供いたします！



日 時 平成20年5月23日(金) 12時30分～17時00分  
場 所 立命館大学 びわこきつキャンパス エポック立命21  
滋賀県草津市野路東1丁目1-1  
プログラム  
・開会挨拶 (12時30分～13時00分)  
・商談固定ブース (13時00分～17時00分)  
・商談自由ブース (13時00分～17時00分)  
・ビジネスマッチング (ご商談) (13時00分～17時00分)  
主 催 立命館大学、株式会社 びわこ銀行

- 中小企業訪問、技術相談
- 事業計画の評価
- 販路開拓支援
- ベンチャーコンテストの共催

機密事項が含まれる研究成果の特許出願検討会議にも出席。銀行へ復帰した後は産学連携分野の専門部署に所属し、大学を融資先の中小企業に紹介する業務へ着任。



大学のメリット

金融機関と連携することにより、金融機関の持つ企業・経営者ネットワークや財務評価能力を活用し、多様な産学連携メニューの提供やノウハウの蓄積など、組織としての機能向上

金融機関のメリット

リレーションシップバンキングの対応や取引企業の顧客満足度の向上を目指し、産学連携活動に携わる人員の育成とノウハウの習得

大阪信用金庫では2003年から職員を「産学連携コーディネーター」として大阪府立大学に常駐させ、各支店にも産学連携の相談窓口を設置、主に中小企業診断士の資格を持った職員が対応し、相談内容をすぐに産学連携コーディネーターに届けるなど、組織的なバックアップ体制を構築している。

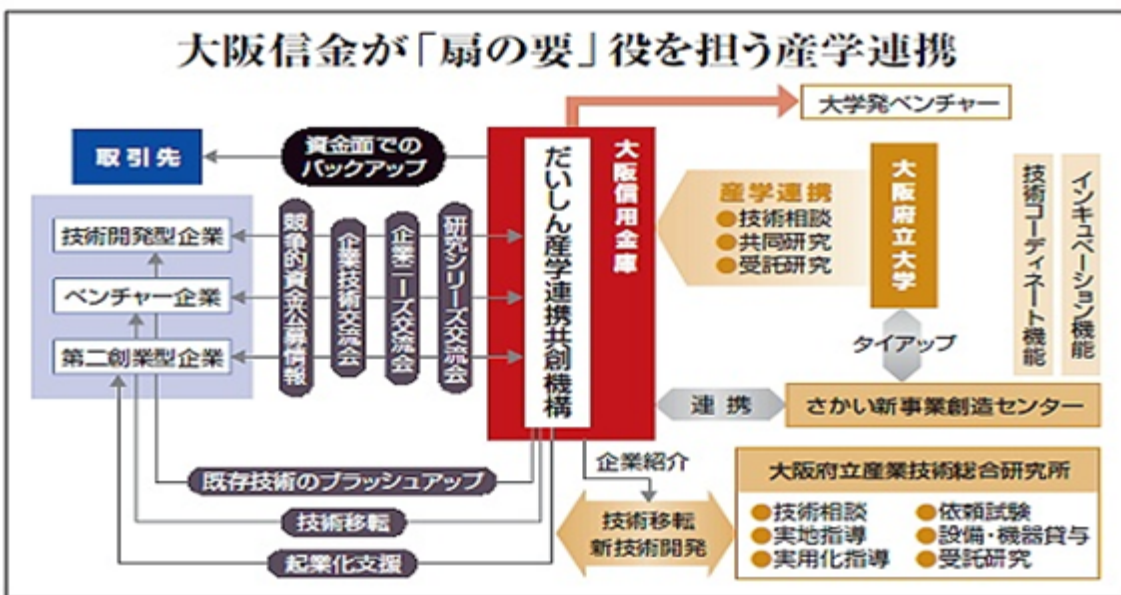
大阪信用金庫が「だいしん産学連携共創機構」を設立し、融資先等顧客と大阪府立大学との共同研究による新製品・新技術の開発、技術相談、及び学术交流等を行い、公的支援機関である「さかい新事業創造センター」とも連携する事で地元中小企業の支援を実施。



現在までに相談を寄せてきた中小企業は414社。

技術相談や共同研究の打診など、毎月20件以上。

- 共同研究等成約件数
- ・ 共同研究 12件
- ・ 受託研究 1件
- ・ 寄附金 11件



### これまでに事業化された事例

社名	産学協同の内容
こうはら本店養育館 (大阪市東住吉区)	発酵塩昆布を使用した製品の量産化に成功。糖の吸収を抑えるなどの健康成分が評判、ベストセラーに
K&K (大阪市西区)	潤滑油や切削油に必要な金属加工を電解水で可能にする技術を開発。電解水の生成の量産化に成功
シケン (大阪市天王寺区)	光触媒反応を利用して簡単に歯垢を落とせる高機能歯ブラシの開発。電動歯ブラシと比べ安価で故障もない
ソーシャルブレーン (大阪府堺市)	産休などで退職中の看護師向けに、業務実力を落とさないようなeラーニングシステムのコンテンツ開発
富士高周波工業 (大阪府堺市)	出力半導体レーザーを使った熱処理加工。極小精密部品でも熱処理で生じる歪みを最小限に抑え、歩留まり向上、後処理の省略が可能に

連携機関：大阪府立大学、大阪信用金庫、さかい新事業創造センター 他